

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-331184

(43)Date of publication of application : 30.11.2001

(51)Int.Cl.

G10K 15/02

G06F 17/30

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-150397

(71)Applicant : UNIVERSAL MAGIC INC

(22)Date of filing : 22.05.2000

(72)Inventor : HANDA SHIGERU

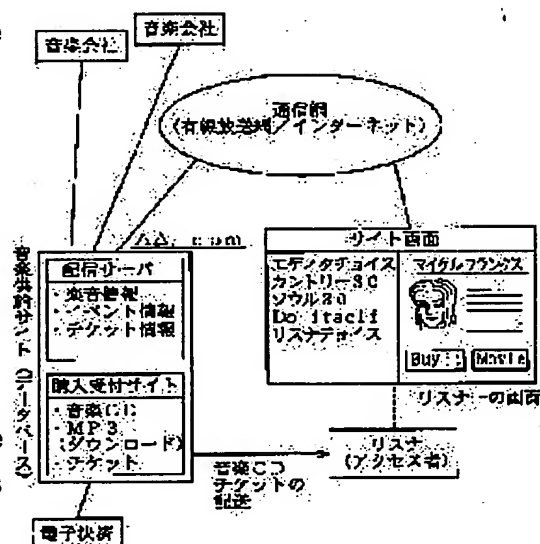
(54) MUSIC SUPPLYING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a meeting place for music artists and listeners employing a communication network such as the Internet, so as to advertise the artists and/or music and to make the listener purchase music CDs, if the listener so desires.

SOLUTION: A music supply site and a listener's information terminal are connected on the Internet. When the listener makes an access to the music supply site (or example, ΔΔ. com) through the Internet, plural music are successively and continuously delivered to the listener from the site. The listener listens to these musics at any time similar to cable broadcasting on the Internet.

Moreover, when the listener locates a desired music among the delivered musics, he makes a purchase order while the music is being delivered and receives a music CD or the music later. Having constituted such a music supply system, the music supply site economically advertises delivered musics and the artists, the listener's side easily listens to many musics and music media such as music CDs are timely purchased if so desired.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

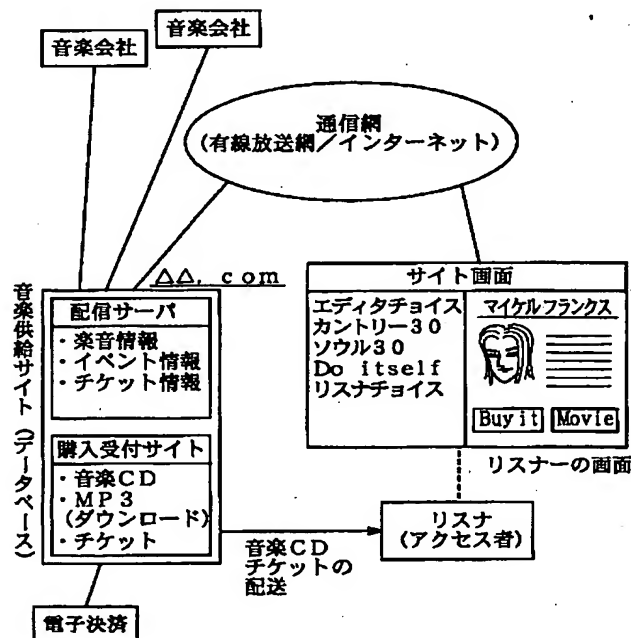
[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット等の通信システム（通信手段）に接続されたサーバ等の記憶手段に複数の曲目の演奏・歌手の声等の楽音情報を記憶し、前記通信システムを介して前記記憶手段と関連付けられサイトにアクセスされることにより、そのサイトが有する複数の曲の楽音情報を前記通信システムを介してアクセス者に順次連続的に流し続けることを特徴とする音楽供給方法。

【請求項2】 前記複数の曲の楽音情報は、1曲ごとの一部ずつを配信するために、所定の単位配信時間に限り配信を続行し、その単位配信時間が経過すると当該曲の配信を終了して別の曲の楽音情報を、前記単位配信時間が経過するまで配信する請求項1に記載の音楽供給方法。

【請求項3】 前記複数の曲の楽音情報が配信されている間に、前記通信手段のサイトの画面に、その楽音情報が配信されている曲の曲名、歌詞、歌手、演奏者それらの本人情報、その他当該曲に関連する文字・画像等の関連情報が、前記楽音情報に併せて配信される請求項1ないし3のいずれかに記載の音楽供給方法。

【請求項4】 前記サイトの画面に、前記配信される曲の楽音情報に対応する曲関連画像を静止画又は動画の状態で表示するために画像表示部が設けられ、前記曲の配信時にはその曲と関連付けて予め記憶されている曲関連画像が自動的に、あるいは別途設けられて画像表示指示部を指示操作することに基づき、前記単位配信時間に対応して表示されるように前記アクセス者に配信される請求項1ないし3のいずれかに記載の音楽供給方法。

【請求項5】 配信可能な楽音情報を複数の曲目リストとして記憶することにより曲メニュー画面が表示されるようにし、アクセス者がその曲メニューの中から選択した曲目の楽音情報が所定の順番で、あるいはアクセス者により特に指定された順番で順次配信される請求項1ないし4のいずれかに記載の音楽供給方法。

【請求項6】 前記サイトの画面に、予め定められた複数の曲の楽音情報がジャンル毎等の所定分類で又は分類に関係なく自動的に配信されるエディタチョイスモードと、アクセス者が前記曲メニュー画面に基づいて特に指定して配信を受けるためのリスナチョイスモードとを選択するためのモード選択部が表示され、アクセス者が所望のモード選択部を指示することにより、エディタチョイスモードとリスナチョイスモードを選択できるようになっている請求項1ないし5のいずれかに記載の音楽供給方法。

【請求項7】 特定の曲の楽音情報が配信されている間に、あるいはその前又は後に、その特定の配信曲に対応する音楽記録媒体をアクセス者が購入する又は貸与を受けることができるように、あるいは前記特定の配信曲に対応する楽音情報をアクセス者がダウンロードできるように（以下、購入等という）、前記サイトの画面に、そ

のアクセス者の前記購入等を受け付ける購入等受付部が表示され、アクセス者が特定の曲の楽音情報の配信を受けてその曲の前記購入等を希望する場合は、前記サイトの表示画面上で前記購入受付部が指示されることにより、特定の曲の購入等のモードに入る請求項1ないし6のいずれかに記載の音楽供給方法。

【請求項8】 前記サイトの表示画面に設けられた前記購入等受付部が、前記特定の曲の楽音データが配信されている規定時間内に、前記アクセス者により指示されることにより、その配信中の曲の購入等が希望されたものと判断して、当該曲の購入等のモードに移行する請求項7に記載の音楽供給方法。

【請求項9】 前記購入等受付部が指示されると、楽音情報の配信を中止し、購入等の契約画面に移り、その契約画面上で、その曲の購入等を希望するアクセス者を特定するアクセス者情報や対価支払いのための決済情報の入力を受け付けるモードに移行する請求項7又は8に記載の音楽供給方法。

【請求項10】 前記サイトの表示画面の購入等受付部を指示して特定の曲の購入等のモードに移行した際、その購入等のモードでの入力に基づいて得られたアクセス者情報を記憶して蓄積し、その購入等に関連する特定の曲の情報を、前記アクセス者情報に基づいて特定のアクセス者に前記通信手段で配信し、又は前記購入等に関連するアクセス者に後に供給するための蓄積情報とする請求項7ないし9のいずれかに記載の音楽供給方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、音楽情報（主に楽音データ）をインターネット等の通信手段を介して供給（配信）する音楽供給方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、音楽の供給は、CD-ROM媒体（以下、音楽CDともいう）の販売によるのが普通であるが、その音楽の歌手等（作曲者、編曲者、作詞者等を含む）について、音楽会社は膨大な宣伝広告費用や人材を通して、そのアーティストないし音楽を世間に知らしめ、その評価を受けて初めて、音楽CD販売が成立する。また、音楽CDではなく、インターネット等の通信手段を介して、音楽の楽音データをアクセス者に有料でダウンロードさせるダウンロードサイト販売も行われているが、それが成立するためには、そのアーティストないし音楽を世間に知ってもらわなければならない。

【0003】 いずれにしても、特定の曲やアーティストの音楽CD販売やダウンロードサイト販売の成立のためには、音楽会社は膨大な宣伝広告費用や人材を投入する必要がある。他方、音楽CDやダウンロードサイト販売を受ける受手（リスナ）側は、新たな音楽に接する機会が少なく、世間で評価された後に、音楽CDやダウンロード販売を受けるしかなかった。仮に新しい音楽に積極的

に接触しようと思えば、あまり知られていないアーティストのコンサート等に頻繁に足を運ばなければならない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】この発明は、音楽のアーティストとリスナの出会いを図り、アーティストの音楽を世間に知らしめるための膨大な広告宣伝費用や人材の投入を節減し、また、リスナには新しい音楽に接触しやすくして、アーティストとリスナの双方の要望をかなえる音楽供給方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段及び発明の効果】この発明は、インターネット等の通信システム（通信手段）に接続されたサーバ等の記憶手段に複数の曲目の演奏・歌手の声等の楽音情報を記憶し、前記通信システムを介して前記記憶手段と関連付けられサイトにアクセスされることにより、そのサイトが有する複数の曲の楽音情報を前記通信システムを介してアクセス者に順次連続的に流し続けることを特徴とする。

【0006】このように複数の音楽（楽音情報（データ））をアクセス者（リスナ）にインターネット等の通信手段を介して連続的に流し続けることにより、リスナは音楽を24時間好きなときに聴くことも可能となり、またコマーシャルで音楽が中断されることも回避できる。そして、このように垂れ流しで聴ける音楽（無料であればなおさら）により、リスナは気に入ったアーティストの音楽を自由に聴くことができ、またそのような垂れ流しであたかも従来の有線放送のように音楽が聴けることで、新しい、あるいは無名のアーティストとの出会いも容易に確保できる。

【0007】また、前記複数の曲の楽音情報は、1曲ごとの一部ずつを配信するために、所定の単位配信時間に限り配信を続行し、その単位配信時間が経過すると当該曲の配信を終了して別の曲の楽音情報を前記単位配信時間が経過するまで配信することができる。

【0008】このように単位配信時間で曲の配信を行い、その単位配信時間が経過したら、曲の途中で次の曲に移行することで、一定の時間内で多くの曲を聴くことができる。また、他の法律的な規制、例えば著作権法等に縛られない所定時間の利用枠内でアーティストとリスナの出会いを図ることにより、既存の音楽情報サイトに見られるような利用者と楽曲提供者との間の複雑な権利処理や不正使用等の障害も生じにくい。そして、上記のような垂れ流しで聴ける音楽サイト供給主体が、例えば有線放送事業者ないしは放送局に位置付けられ、アーティストやCD制作者等の新たな許諾も不要とできる等、音楽の流通性が高まる。

【0009】また、前記複数の曲の楽音情報が配信されている間に、前記通信手段のサイトの画面に、その楽音情報が配信されている曲の曲名、歌詞、歌手、演奏者それらの本人情報、その他当該曲に関連する文字・画像等

の関連情報を、前記楽音情報を併せて配信されるようにすることができる。

【0010】このように音楽の配信に合わせて、リスナ側が曲名や歌詞、アーティストの情報等の関連情報を曲の流れとともに知ることができるから、新しい音楽との出会いが一層効果的に演出される。

【0011】さらに、サイトの画面に、前記配信される曲の楽音情報に対応する曲関連画像を静止画又は動画の状態に表示するために画像表示部が設けられ、前記曲の配信時にはその曲と関連付けて予め記憶されている曲関連画像が自動的に、あるいは別途設けられて画像表示指示部を指示操作することに基づき、前記単位配信時間に対応して表示されるように前記アクセス者に配信されるようにすることができる。

【0012】このように曲ないしはアーティストに対応する曲関連画像を音楽が流れているのと同期して見ることができるから、例えばアーティストの顔や姿等を映し出す静止画や動画等を見ることで、その曲やアーティストに対する関心を一層高めることができる。

【0013】また、配信可能な楽音情報を複数の曲目リストとして記憶することにより曲メニュー画面が表示されるようにし、アクセス者がその曲メニューの中から選択した曲目の楽音情報が所定の順番で、あるいはアクセス者により特に指定された順番で順次配信されるようにすることができる。

【0014】音楽の配信は、そのサイト側であらかじめ定めた曲のリストや順番に従って連続的に流すこともできるが、リスナが曲の選択や順番等をリスナの希望に合わせて、リスナサイドで設定できるようにすることで、リスナ（アクセス者）は気に入った曲だけをピックアップして聴くことができ、また、その順番等も聴きやすい順番に合わせることができる。

【0015】さらに具体的に、サイトの画面に、予め定められた複数の曲の楽音情報がジャンル毎等の分類で又は分類に関係なく自動的に配信されるエディタチョイスモードと、アクセス者が前記曲メニュー画面に基づいて特に指定して配信を受けるためのリスナチョイスモードとを選択するためのモード選択部が表示され、アクセス者が所望のモード選択部を指示することにより、エディタチョイスモードとリスナチョイスのモードを選択できるようにすることができる。

【0016】このようなエディタチョイスとリスナチョイスが選べることで、アクセス者（リスナ側）は、あまり曲目やアーティストにこだわらずにバックグラウンドミュージック的に音楽を聴こうとする場合などにおいてはエディタチョイスを、また、リスナ側が聴きたい曲がある程度決まってい、それらの曲のみを集中的に聴きたいような場合は、リスナチョイスを選択するようにモードを設定することで、音楽供給を受けるリスナ側の好みを敏感に反映することができ、好みの異なる幅広い層の

リスナに汎用的に対応できる。

【0017】さらにまた、特定の曲の楽音情報が配信されている間に、あるいはその前又は後に、その特定の配信曲に対応する音楽記録媒体をアクセス者が購入する又は貸与を受けることができるように、あるいは前記特定の配信曲に対応する楽音情報をアクセス者がダウンロードできるように（以下、購入等という）、前記サイトの画面に、そのアクセス者の前記購入等を受け付ける購入等受付部が表示され、アクセス者が特定の曲の楽音情報の配信を受けてその曲の前記購入等を希望する場合は、前記サイトの表示画面上で前記購入受付部が指示されることにより、特定の曲の購入等のモードに入るようにすることができる。

【0018】例えば上述のような音楽サイトから垂れ流しで音楽を聴いていて、その中から気に入った音楽を耳にすれば、リスナはそのCDを購入するか、音楽の圧縮データをダウンロード購入するかを考えるのが自然な流れといえる。そして、垂れ流しで音楽を流す主体（サイト）は「音楽の放送局」であり、「音楽の広告塔」と言うことができるが、その広告からさらにリスナが望むならば、音楽媒体の販売等へと発展させることができる。

【0019】例えば、リスナが24時間好きなときに音楽を聴いていて「この曲、いい曲だ!」と思えば、例えばその曲が流れている間に購入等の受付を行うことにより、容易に目的とする音楽CD（これ以外に磁気記録、光記録、光磁気記録その他適宜の媒体がある）を購入したり、音楽の圧縮データをダウンロードしたり、また、場合によってはCDの貸与等の申込みをしたりすることができる。このように音楽を聴くのに合わせて、音楽CD等の販売・購入ができるので、音楽配信の画面から音楽CD等を購入するまでの一連の流れを作ることができ、リスナの購買意欲を逃がさないことと合わせて、音楽提供会社などのスポンサーに対しても説得力のある「広告塔付きショップ」として機能させることができる。

【0020】特に、前記サイトの表示画面に設けられて前記購入等受付部が、前記特定の曲の楽音データが配信されている規定時間内に、前記アクセス者により指示されることにより、その配信中の曲の購入等が希望されたものと判断して、当該曲の購入等のモードに移行することができる。

【0021】このように特定の曲が配信されている規定時間内は、その特定の曲のみの購入等ができるようにすることで、リスナの「いい曲だ」との感性を、購入等に直ちに反映することができ、「聴く」ということと、「気に入る」ということと、「購入等する」ということとがほとんど同時に合体、融合ないし結合することができ、音楽の配信者にとってもリスナにとっても利益あるものとなる。

【0022】また、前記購入等受付部が指示されると、

楽音情報の配信を中止し、購入等の契約画面に移り、その契約画面上で、その曲の購入等を希望するアクセス者を特定するアクセス者情報や対価支払いのための情報の入力を受け付けるモードに移行することができる。

【0023】例えば、購入用のクリックボタンをクリックすると、音楽の配信を中止して、購入等の契約画面に移り、あとは購入契約を画面上で行う。具体的にはリスナ（アクセス者）の住所・氏名・クレジットカード等の番号を入れ、発送方法は宅配便や郵便で自宅に直送するとか、あるいはコンビニエンスストアでの受け渡し等、適宜設定することができる。

【0024】さらに、前記サイトの表示画面の購入等受付部を指示して特定の曲の購入等のモードに移行した際、その購入等のモードでの入力に基づいて得られたアクセス者情報を記憶して蓄積し、その購入等に関連する特定の曲の情報（例えば後に生じる特定曲情報）を、前記アクセス者情報に基づいて特定のアクセス者に前記通信手段で配信し、又はアクセス者情報を前記購入等に関連するアクセス者に後にダイレクトメール等で供給するための蓄積情報とすることができる。

【0025】例えば、過去の音楽CD購入者又はダウンロード実行者の情報をサーバ等に記憶しておいて、そのCDやダウンロードの対象になった曲のアーティスト（歌手、作曲者、編曲者、作詞者等）の新しい情報、例えばコンサート情報であるとか、新曲の発表であるとか、そういった情報をインターネット等を通じた電子メール（Eメール）や郵便を用いたダイレクトメール等で該当するアクセス者に配信することができる。つまり、アーティストとリスナの最初の出会いは、垂れ流しの音楽の配信を受けてその曲を聴くところから始まるが、リスナが特定の曲を気に入って購入等の申し込みをした場合は、そのリスナからの反応がリスナデータとして蓄積される。従って、例えば、「以前マイケル・フランクスCDを注文した人を選び出して、新しい音楽の紹介をする」等といったことは、自動的なデータ処理として実行可能であり、極めて安価で効率的な販売促進活動が可能となる。

【0026】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態を図面に示す実施例を参照しつつ説明する。図1は、この発明の音楽供給方法ないしシステムの全体概要を概念的に示すものである。音楽供給サイト（データベース）が当該音楽供給会社のサーバ又はサーバ管理会社のサーバに設定され、インターネットの特定のサイトとして例えば「△△.com」等のサイト名（ドメイン名:URL）をもつこととなる。

【0027】この音楽供給サイトのデータベースには配信サーバとして多数の曲の楽音情報（楽音データ）や特定のアーティスト等のイベント情報、チケット情報等が格納され、また、音楽CD等の購入受付サイトとしてのデ

10

20

30

40

50

ータベースも格納されている。購入等の対象は、音楽CD、MP3(MPEG3)等の音楽の圧縮データによるダウンロード販売、チケット販売等がある。

【0028】このような音楽供給サイトはインターネット等の通信網(以下、代表的にインターネットと称する)につながれたサイトとして機能し、一般のリスナ(アクセス者)はインターネットを通じて自由にこの音楽供給サイト「△△.com」にアクセスできる。また、楽曲情報(曲を構成するデジタルデータ)、イベントやチケット情報、あるいは歌手名等のアーティスト情報などを全体として音楽情報と称することにすれば、音楽会社はそのような音楽情報をこのサイトに供給するために、インターネットあるいは専用回線によるイントラネットがこのサイトと接続される。

【0029】例えば、複数の音楽会社からイントラネットの通信を介して、多数の曲のデジタル情報がこの音楽供給サイトのデータベースに配信され、格納・蓄積されることとなる。また、後述するように、リスナが気に入った音楽CDやチケット等の申込みがあれば、それらが例えばこの音楽供給サイトを運営する主体又は代行業者からリスナへ配送される。また、そのような音楽CDやチケット等の販売のために、クレジットカード等による電子決済ができるようになっている。

【0030】このような音楽供給システムにあって、リスナが上記音楽供給サイト「△△.com」にアクセスすることにより、リスナへ複数の曲が次々と連続的に配信される。この際、各曲の配信時間は単位配信時間で一律に規定することができ、例えば1曲あたり80秒で配信し、その単位配信時間が終了すれば、次の曲の配信に移り、以下同様に複数の曲を単位配信時間ずつ次々と連続的にリスナへ配信することができる。インターネットを利用した音楽のいわば垂れ流し供給、あるいはインターネット上の有線放送ということもできる。ここで、リスナは無料で24時間いつでも自由にこのような垂れ流しの音楽情報を聴くこともできるわけであるが、インターネットの接続速度が極めて高速で接続料金も安価な状況では、特に利用しやすいものである。

【0031】インターネットを通じてリスナへ供給されるサイト画面(リスナの画面)は適宜設定することができるが、例えばリスナが配信方法をエディタチョイスかリスナチョイスかを設定するクリック領域や、曲のジャンル(どのような種類の曲を聴きたいかを選ぶ)を選択するクリック領域(例えば「カントリー30」、「ソウル30」等)がリスナの設定することができる内容として提示される。また、ある曲が流れている(配信されている)状態で、その曲のアーティスト(歌手)や、その曲やアーティスト(歌手)に関する情報(アーティストの外見(写真、イラスト等)、年齢や出身地、これまでにリリースした曲目、あるいは曲の人気度等)を表示することができる。

【0032】また、アーティストや曲に関連する画像(静止画又は動画)を曲の配信とともに自動的に、あるいは「Movie」をリスナがクリックすることでサイト画面に表示することができる。さらに、ある曲を聴いていてリスナがその音楽CD等を購入したいと思ったときは、サイト画面上の、例えば「Buy it」をクリックすれば、音楽CD等を購入するための画面に変わる。また、その流れている曲の歌詞等をみながらリスナが歌いたいようなときは、歌詞等の情報をサイト画面に表示させるために例えば、「Do it self」のクリック領域等の指示部を指示すれば、曲の流れるのに合わせて歌詞等もサイト画面に表示することもできる。

【0033】図2は、音楽供給サイトの主体をなすサーバの内容を概念的に示すものである。そのサーバ100は、ハードディスク(HD)10等の大容量記憶装置を有し、そのハードディスク10には、複数の曲のメロディ(旋律)や、音声その他の楽音情報(楽音データ)を記憶する楽音情報メモリ11、曲目のリスト、例えば曲名を一覧表的に記憶する曲目リストメモリ12、複数の曲ないしアーティストに対応付けたイベントの情報を記憶するイベント情報メモリ13、個々のアーティストに関連付けたコンサートやそのチケットの価格、購入方法等を記憶するチケット情報メモリ14、各曲に対応付けられた画像(Movie)を記憶する画像メモリ15、後述するリスナチョイスモードで、リスナが任意に設定した内容を記憶するリスナチョイス設定メモリ16(なお、後述するRAM28を用いてもよい)、リスナが聴いていて気に入った音楽CD等を購入した場合の、購入者リスト・購入曲目等の内容等を記憶・蓄積する購入受付データベースメモリ17等が設けられている。

【0034】このようなメモリ領域、ひいてはハードディスク10は、バスライン29を介してCPU20とつながれ、CPU20はこのバスライン29を通じてI/Oインターフェース21、ROM22及びRAM28と接続されている。RAM28は主にワークメモリとして機能し、ROM22にはこの音楽供給に必要なプログラムが記憶(格納)されている。配信プログラム23はインターネットを通じて音楽情報を配信するためのルーチンを規定したもので、表示プログラム24は図1に示したリスナの画面に対する表示処理を規定するものであり、購入受付プログラム25はリスナが気に入った音楽CD等を購入する際に起動するルーチンを規定したものである。

【0035】このようなサーバ100は、I/Oインターフェース21を介してインターネットに接続され、リスナ(アクセス者)はインターネットを介してこのサーバ100にアクセスできる。また、音楽会社はインターネットを介して、または専用回線によるイントラネットがこのサーバ100と接続され、このサイトからインターネットを介して配信するための楽音情報その他の音楽

情報を、音楽会社からこのサーバ100に供給し、前述したようなメモリ11等にそれが格納・蓄積されることとなる。

【0036】次に、この発明に従う音楽供給方法の流れを図3以降のフローチャートに基づいて説明する。図3において、ステップ（以下、Sで略する）S1において、インターネットを通じてリスナから前述のサイト

「△△.com」にアクセスがあると、S2でサイト画面（リスナの画面）が表示され、S3でリスナがエディタチョイスかリスナチョイスを選択する。エディタチョイスが選択されると、S4でエディタチョイス設定がされ、それに基づいてS5のエディタチョイス配信・購入受付ルーチンが実行される。

【0037】一方、S6でリスナチョイスが設定されると、S7でリスナチョイス設定ルーチン、及びS8でリスナチョイス配信・購入受付ルーチンが実行される。そして、S9でサイト終了の指示がリスナからあるまでは、エディタチョイスあるいはリスナチョイスによる配信・購入受付ルーチンに従う。

【0038】図4はエディタチョイスの配信等のルーチンを示すものである。ステップE1でリスナの画面において曲ジャンルが選択され、例えばロックかカントリーかソウルかといった曲ジャンルをリスナが希望に応じて選択する。そして、E2では選択された曲ジャンルに対応する楽音情報を、前述の楽音情報メモリ（図2）11から読み出し、インターネットを通じアクセス者（リスナ）へ複数の曲を順次連続的に配信する。E3でリスナがサイト画面における「Movie」のクリック領域を選択すると、配信中の曲又は歌手等に対応する画像データが静止画あるいは動画の形でサイト画面に表示される。

【0039】E5でサイト画面におけるチケット情報のクリック領域が選択されると、E6で配信中の曲の歌手等に関連するチケット情報が表示（配信）される。また、E7においてサイト画面上でイベント情報のクリック領域が指示されると、E8で配信中の曲の歌手等に関連するイベント情報を表示（配信）する。E9でその他の情報の選択のために所定のクリックがされると、E10でそれに対応する情報の表示（配信）が行われる。

【0040】図5に移って、E11で購入受付（「Buy it」）のクリック領域がリスナによってクリックされると、E12で購入受付表示画面が表示され、この際、音楽配信は一時停止される（継続してもよい）。つまり、リスナが特定の曲を聴いていてその曲の配信中に「Buy it」のクリックをすると、その配信中の曲の音楽CD等の購入受付ルーチンに移行する。E13、E14及びE15で、リスナが購入種別を音楽CD、圧縮データのダウンロード等のどれにするかを選択すると、E16で購入種別の対象物（音楽CDかダウンロード等か）が決定する。あとはE18でリスナの住所・氏

名・電話番号等その他のアクセス者情報が入力され、E19で支払（決済）の方法等がリスナ（アクセス者）から入力される。さらにE20で購入受付完了を示す表示画面がリスナに配信される。

【0041】なお、ある曲が配信中に購入申込みをすることによって、一義的にその配信中の曲を購入する意思表示とみなす以外に、E17で2点鎖線で示すように、配信中の曲とは関係なく、曲ジャンルさらには曲メニューから選んだ曲の音楽CD等の購入申込みをすることもできる。そして、購入受付が完了すれば、E21、E22を経て図4のE2に戻り、上述のような垂れ流しの連続配信が継続する。なお、E21で音楽情報の配信停止の指示がリスナからあれば、それで終了となり、他方そのような停止の指示がなく、かつE22でエディタチョイスのモード解消の指示がリスナからあれば、後述のようにリスナチョイスに移行する。この点については次に説明する。

【0042】図6はリスナチョイスのルーチンを示すもので、リスナチョイスが設定されるとステップL1で曲リスト（曲メニュー）が表示され、L2でリスナが配信を受けたい曲目や、L3で配信順を入力すると、L4でリスナチョイスでリスナが任意に設定した内容が図2のリスナチョイス設定メモリ16あるいはRAM28等に一時記憶される。

【0043】図9はリスナチョイスでのリスナによる設定の一例を概念的に示すもので、（a）でリスナの画面（サイト画面）に曲メニューが表示される。この曲メニューは曲ジャンル毎にそれぞれ個別に表示されてもよいが、この例のように曲メニューの全体を曲ジャンルとともにリストを表示してもよい。図中のA、B、C・・・は、曲目（曲名）を表すものとする。

【0044】そして（b）のように、リスナが自分で配信を受けたい曲目を自由に選択する。例えば1番目に「G」を、2番目に「B」を、3番目に「E」を、4番目に「J」の曲をそれぞれ選択したとすれば、その選択（一般にはクリック）の順番に従って、（c）のように、リスナチョイス曲目として上述の選択した順番に配信曲がピックアップされ、リスナの画面に表示される。そして、連続的な配信は、このリスナチョイスで設定された曲目及び順番に従い行われることとなる。

【0045】すなわち、図6のL5のように、リスナチョイス設定情報に基づき、楽音情報メモリ11から配信すべき楽音情報を読み出し、インターネットを通じてアクセス者に連続配信する。そして、L6でサイト画面（リスナの画面）の「Movie」のクリック領域が選択（指示）されると、L7で配信中の曲又は歌手等に対応する画像データを読み出してサイト画面に表示（配信）する。

【0046】そして、図7のL8でリスナが「Buy it」をクリックして、リスナチョイスにおいて配信中

の曲の音楽CD等を購入する申込みをした場合は、L9～L21のような流れとなり、この購入受付（購入契約ルーチン）は図5におけるエディタチョイスモードにおけるE11～E21と実質的に同様であるので、重複した説明は割愛する。

【0047】なお、図7においてL15、L16等でアクセス者や決済の情報等をリスナが入力した後、L17で購入契約がOKかどうかを、サイト側で判断するステップを入れてもよい。例えば入力されたクレジットカード等の番号と本人の氏名が一致しなかったり、クレジットカードの有効期限が切れていたりした等の理由があるかないかを、L17でチェックし、購入契約がOKであれば、L18で購入契約成立の表示をリスナに配信し、購入契約ができない場合は、L20で購入契約不成立の表示をリスナに配信する。

【0048】L21で音楽情報配信停止の指示がなく、L22で、リスナチョイスの解消がリスナから指示されると、図3のFに移行して、エディタチョイスのモードになる。なお、図5のE22で、エディタチョイスが解消された場合は図3のCに移行してリスナチョイスモードとなる。

【0049】なお、複数の曲の連続的な配信において、それぞれの曲の全部を順次配信することもできるが、図8に例示するように、複数の曲を配信するにあたっての1曲毎の配信時間をタイマー等で予め時間制限し、その制限された単位配信時間が終了したら、現在ある曲の配信途中でも、その曲の配信を中止して次の曲の配信をスタートすることができる。

【0050】図8に例示する例では、ステップQ1でタイマーがセット（リセット）され、Q2で例えばA曲の配信が開始され、Q3で単位配信時間が経過したかどうかを判断する。その設定された配信時間中はA曲の配信を継続するが、その単位配信時間が経過すれば、A曲の配信が途中でQ4でその配信を終了し、Q5でタイマーをリセットした後、Q6でB曲の配信を開始する。そして、Q7でB曲の配信時間を計測し、所定の配信時間が過ぎたらQ8でB曲の配信を終了するように設定する。

【0051】そして、Q10で規定の全曲（N曲）の配信が終了するまでは、そのN曲の配信を継続し、N曲の配信が終了したら、Q11で最初の曲に戻って配信を継続することができる。あるいはQ12で現在の曲目ジャンルの配信を完了したとすれば、別の曲目ジャンルへ移行するようにしてもよいし、Q13のようにN曲の配信

が終了したら、リスナの画面に終了表示を出し、リスナからの再度の指示待ち状態としてもよい。なお、このような音楽の配信過程で、R1においてリスナから配信中止の指示があれば、R2で配信終了を指示する。これはQ1～Q13の処理に対する割込処理としていつでも実行することができる。

【0052】なお、各曲の配信時間（単位配信時間）を全て同じに（例えば一律に80秒等）に設定してもよいが、曲の種類や各曲毎の長さ（その曲の全てを配信し終わるまでの時間）に応じて、単位配信時間（配信制限時間）を個別に（ばらばらに）設定しておくこともできる。言い換えれば、ある曲の配信に要する配信時間の例えば2分の1とか、3分の2等といった所定の時間割合を単位配信時間とすることもできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の音楽供給方法の一例を示す概念図。

【図2】その音楽供給のシステムの中核をなすサーバの概念図。

【図3】この発明の音楽供給の全体的な流れを示すフローチャート。

【図4】エディタチョイスが選択された場合の配信等の処理の流れを示すフローチャート。

【図5】図4に続くフローチャート。

【図6】リスナチョイスが選択された場合の配信等の処理の一例を示すフローチャート。

【図7】図6に続くフローチャート。

【図8】音楽配信にあたり、1曲あたりの配信時間に制限を加えた配信処理の一例を示すフローチャート。

【図9】リスナチョイスでのサイト画面（リスナの画面）の一例と、曲目の選択の手順を例示する説明図。

【符号の説明】

100 サーバ

11 楽音情報メモリ

12 曲目リストメモリ

13 イベント情報メモリ

14 チケット情報メモリ

15 画像メモリ

16 リスナチョイス設定メモリ

17 購入受付データベースメモリ

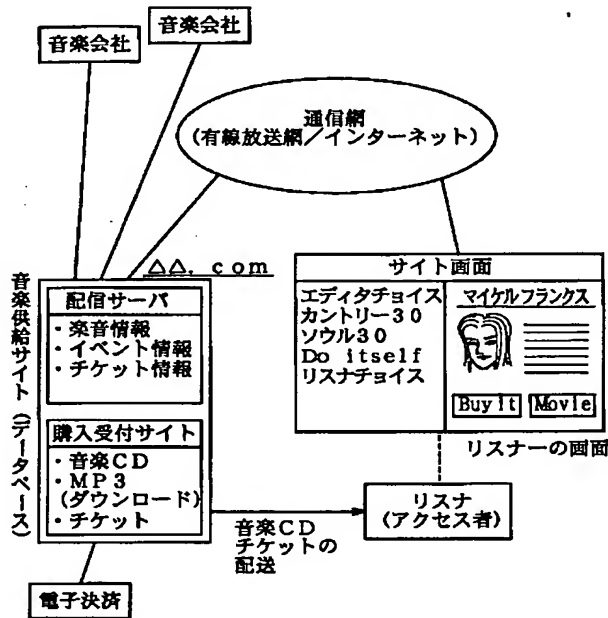
20 CPU

21 I/Oインターフェース

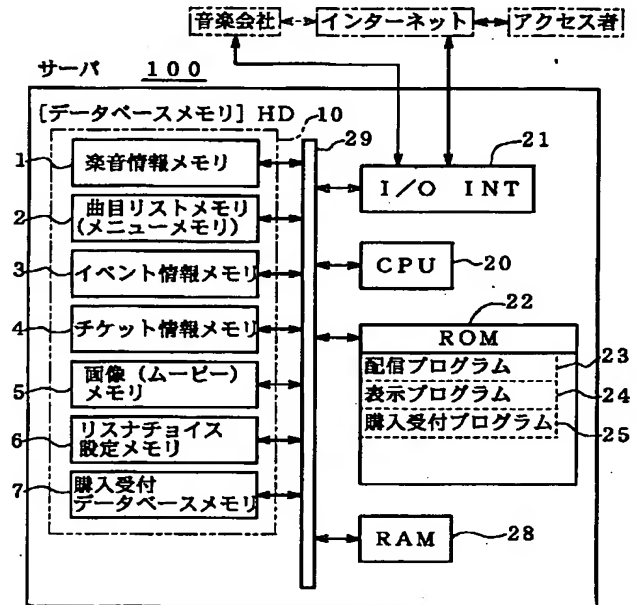
22 ROM

28 RAM

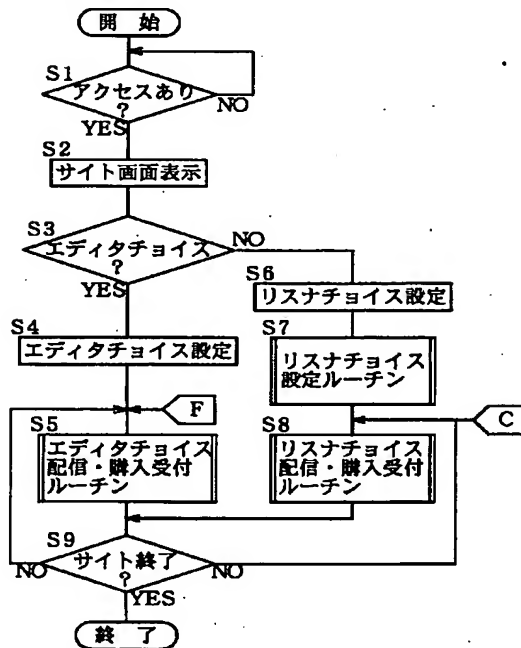
【図1】



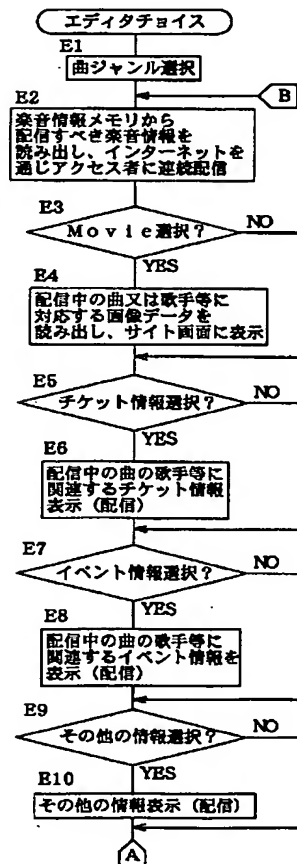
【図2】



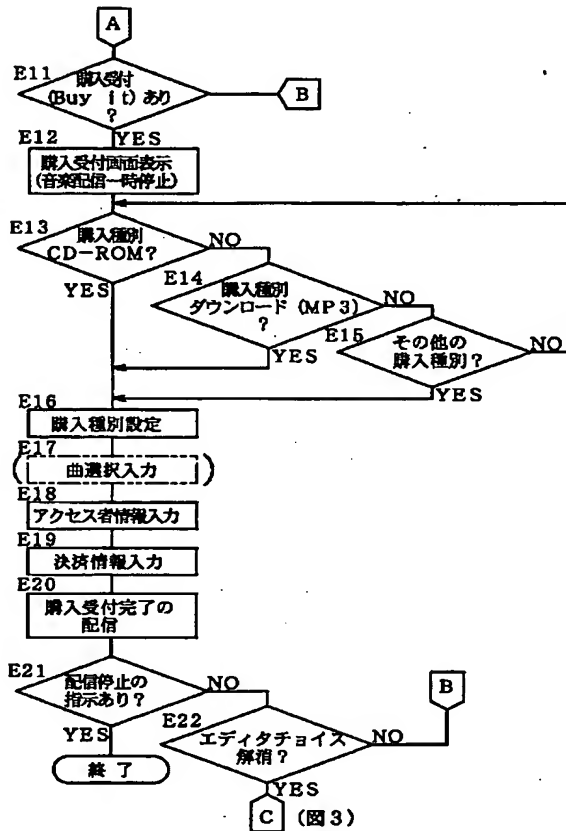
【図3】



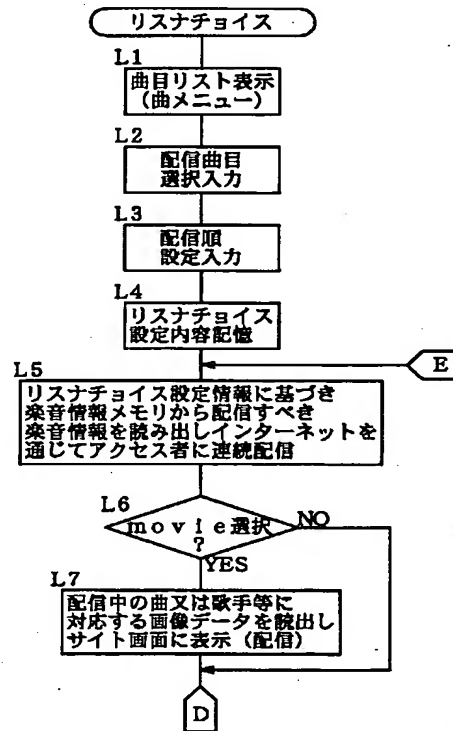
【図4】



【図5】



【図6】



【図9】

(a)

曲ジャンル	曲メニュー				
ロック	A	B	C	D
ソウル	E	F	G	H
カントリー	I	J	K	L
...

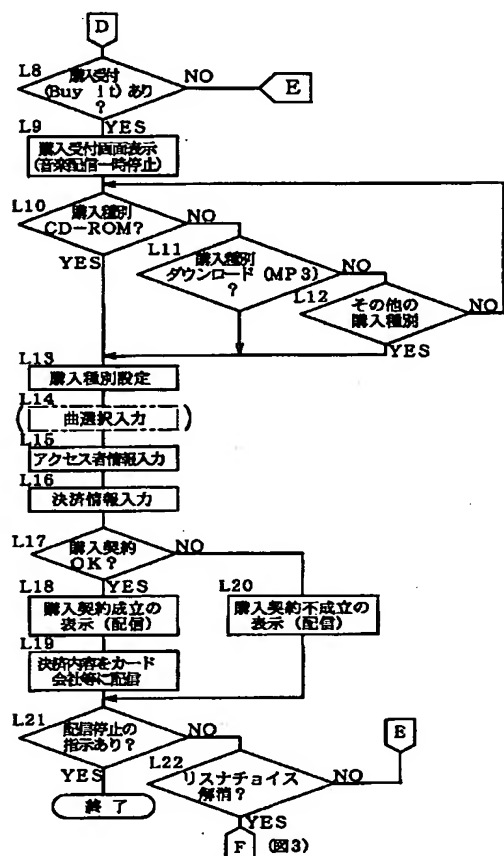
(b)

リスナチョイス					
ロック	A	B ^②	C	D
ソウル	E ^③	F	G ^①	H
カントリー	I	J ^④	K	L
...

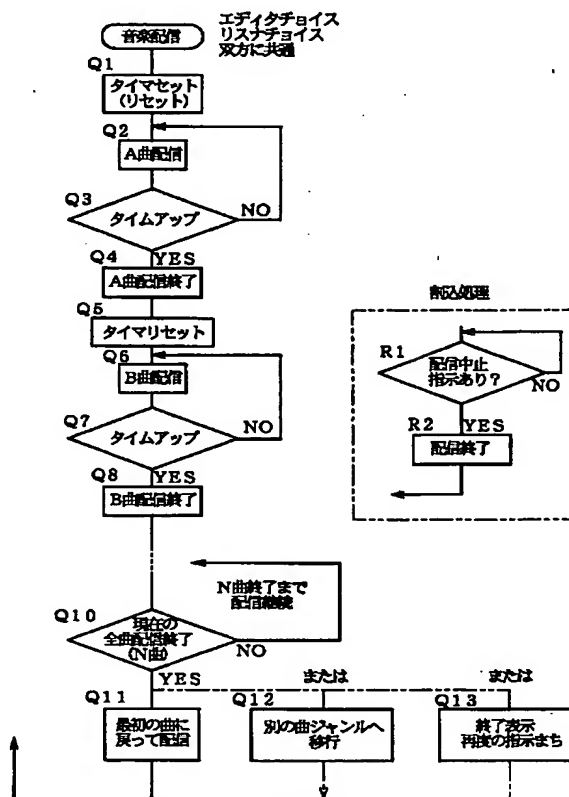
(c)

リスナチョイス曲目				
1	2	3	4
G	B	E	J

【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁷識別記号
502

F I

502

テーマコード (参考)